

西国街道

ものがたり

「大名が下られる時は、昔からの習慣で、草津で必ず「昼の食事」をされまたは時には「休けい」をされた。その時は、休まれる家の門前の左右に「番」を立て、「水」を出した。小休みされる家の亭主と村の庄屋は特(かみしも)をつけ、与頭(みがしら)は袴(はかま)をつけて、町の端まで迎え送りをし、その外、村役人などが、村境から道の先導をした。長崎奉行が通行される時は、道の先導や掃除など村人が大勢出て働いた。」

右の文は「国郡志御用下しらへ書出帖」草津村文政2年(1819)から抜き書きして、分かりやすい文にしたものです。草津は西国街道の間駅(宿泊施設)として役割をはたしていました。大名や藩の役人などが通るときに、おける街道近くの村人達の様子が、少しはうかがえるのではないのでしょうか。

西国街道は近世の山陽道のごとく、幕府の五街道(東海街道・中山道・日光道・奥州道・甲州道)からはずれませんが、西国諸大名の参勤交代や長崎奉行、幕府代官等が往来する道として、五街道に次ぐ重要な位置を占めていました。

広島藩の交通制度が「番整えられたのは寛永10年(1633)に幕府の巡見使を迎えるためでした。この時、藩は御茶屋作事・道橋・里塚の各奉行を任命して、藩内の道路や施設の整備に力を尽したといわれます。御茶屋は幕府巡見奉行われた時、宿泊施設のない村などに藩が設置したもので、道には約里(4km)ごとに目印の塚をつくり、松・杉・榎などを植えました。これを「里塚」といいます。

天保6年(1835)には、50回を数える大名達の往来で、それに要した人馬の記録が残っています。



【資料】山口県文書館蔵

旅は道づれ、世は情け

江戸時代の庶民の旅は「お伊勢参り」「京(本願寺参り)などの寺社まわり」が主でしたが、取り締まりが厳重であったため、関所を通るには「関所手形」と身分証明書となる「往来手形」が必要でした。関所手形は庄屋が「往来手形」は、その旅人の檀那寺(たんなら)などが発行していました。宿は食事を出してくれる「旅籠(はたね)」、食事を作る新代を払う「木賃宿」がありました。文政頃の宿泊代は旅籠で2食付き150文(2250円)〜200文(3000円)、木賃宿で35文(525円)〜50文(750円)、そこで買う米は2食分で80文(1200円)〜120文(1800円)程度でした。



古絵図・井口周辺



波打ちぎわの正順寺が描かれている。波に洗われた跡のある石垣は現在も見られる。正順寺の上の山は頼山陽が月見をした望月山。引き潮の時は干潟を通行していた。

古絵図・草津周辺



古江には「四軒茶屋」が描かれ、草津城は四つの丘からできていて、西国街道は城跡の中を通過している。遠浅のため、草津港は村の西側にあったことが想像できる。

広島藩の絵師岡岷山の「都志見往来日記」の諸勝図

寛政九年(1797)の作 広島市立中央図書館蔵

己斐

土地の人が神功皇后へ鯉を献上したという伝説にもとづいて「鯉」と呼んでいたのが、「己はあやに美しい」という意味の「己斐」に変わったといわれます。「鯉」は広島城を「鯉城」、広島のプロ野球チームを「カープ」と呼ぶ由来になっています。己斐は植木の町として有名。水はけのよい土地で、江戸時代から盆栽、庭木などが栽培されてきました。松の盆栽は特に優れていると高い評価を得ています。



草津

昔、草津は軍(いくさ)の港に繋がれたので「軍津(いくさつ)」と呼ばれそれが「草津」になったといわれます。中世の港は村の西側にあって草津城は水軍城として、いろいろ重要な役割を果たしていました。江戸時代の文献によると、草津のカキは美味であったとされ、また、大阪に販路を開き、一時的ではあるが力カキ船営業の独占権を持つなどし、広島カキを有名にしました。今でもその伝統は守り継がれています。



古江

昔、新宮神社の西は入り江になっていて、古い港があったことから「古江」と呼ばれました。入り江の奥にあたる少し上の丘から、港と関係があったと思われる奈良時代の役所跡が発見されています。また、この役所跡から「すずり」も発見され、奈良時代にはすでに文字の文化がこの地域にもあったとされています。明治・大正期にはピワイイチジクなどの栽培が盛んに行われ、宅地化で生産は減りましたが、現在も秋には甘くおいしいイチジクが実ります。

井口

草津と五日市間の古い集落で、猪之口山が地名の由来といわれます。かつて、井口から西は断崖の海岸線で、峠越えをするか、引き潮を待って海岸線を通るかのいずれかで、どちらにしても交通の難所でした。埋め立てなどにより、現在の海岸線は様変わりしましたが、その中にある、井口明神の小己斐鳥は、当時の様子を今に残しています。平成盛が厳島神社を建てる際、引き潮を利用して材木を送り出したところとも伝えられています。



火おけの役目をする貴重なうだつ。歴史を物語る五輪の塔。切り欠けの中にほほえましい親子のこま丸。うだつとシブヤク小路が特徴的な草津の路地裏。見事な職工の手造り。鳥を獲いた立派なこま丸。



サイヤはV!!のトナカイ君。正順寺でのおもしろ物件。西国街道沿いでひととき目立つキザな建物。KAKKI SCOOP オモシロ物件



これがカッキー路上観察のコスチュームだ!! 路上観察の心得 ●探検家の気持ちで歩こう。 ●五感で感じよう。 ●記録し残そう。 ●人の家に勝手に入らない。 ●車に気をつけよう。 こんなところにもお顔が...



なごいお湯のアクセス便所局はキョロとした目が愛くるしい。なんと立派なだんご!! ちょとびっくりした様子が好きだ!! お花探検の機関車動輪。くるくるまわってどこへ行く。白鷺四角闘4人のガードマンたち。シルクハットのふみキリンちゃん。巨大な足跡は井口にて発見!!

我ら、カッキー路上観察探検隊。

そら見たか!! ついに発見!! カッキー大スcoop!! オモシロ物件から歴史的物件まで西区の町じゃ、てんやわんやの大騒ぎ。



耳をすませば... 忘れていた自然がみえる。もう一つ遊びをみつけました。何気なく歩いていた道に、さりげなくあるよ... あなたの感性でさがしてみよう。忙しい忙しいと言っている人、ちょっと立ち止まって目を閉じてみましょう。

コゲラ 日本で一番小さいキツツキ。 こんな野鳥たちもいたよ!

ウグイス キーコキョと鳴くのは、雄を募集している時だけだよ。

めじろ 目のまわりの白いアイリングがかわい。

メジロ 目のまわりの白いアイリングがかわい。

セグロセキレイ 水辺や川沿い、上下にナンテンと賑やかに歩いているから「インクタン」なんて呼んでるところもあるよ。

シジュウカラ ツツピーンピーンと鳴き声がしたら探して。

ヒバリ 春になったら草むらから、飛び上がりながらさえずるよ。